RHYTHM

2022年３月23日

各　位

会 社 名　リズム株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　平田　博美
（コード番号7769　東証第一部）
問合せ先　取締役常務執行役員　　山崎　勝彦
（TEL 048-643-7241）

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、2023年３月期から2025年３月期までの３年間を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

現在の中期経営計画では、飛躍に向けた基盤づくりとして、成長戦略への取組・グループガバナンスの強化･ＲＯＥ改善､これらによる企業価値の向上に取り組んでまいりました｡新たに始まる中期経営計画では､築き上げた基盤をベースに､「もの造りで圧倒的な強さを発揮し、自ら変化を作り出す企業」を目指し、成長戦略の実現に向け取り組んでまいります。

１．基本方針
- 事業戦略：製販技一体戦略による成長領域の拡大
- 財務戦略：事業成長重視の戦略的投資と株主還元の向上
- サステナビリティ戦略：事業・企業活動を通じた社会価値創出
- 経営基盤：経営基盤の更なる強化による戦略実現サポート

２．経営目標　（計画為替レートUS＄１＝JPY120）

連結	2022年３月期 業績予想	2025年３月期 計画
売上高	２８７億円	３５５億円
営業利益	７億円	２０億円
営業利益率	２．４％	５．６％
ＲＯＥ	３．３％	５．６％
海外売上高比率	４５．０％	４８．０％
車載関連売上高	８８億円	１２０億円

詳細につきましては、別紙をご覧ください。

(注)上記の2022年３月期の業績予想につきましては、2022年２月10日に発表したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性がございます。

以上

中 期 経 営 計 画

（ 2022－2024年度 ）

2022年3月23日

リズム株式会社

（ 東証一部　7769 ）

目次

Ⅰ 中期経営計画の振り返り（2019-2021年度）

Ⅱ 長期ビジョン

Ⅲ 中期経営計画（2022-2024年度）

注：本資料中、特段の注記がある場合を除き、金額は切り捨て、年は事業年度(4月～翌3月)を表します。

RHYTHM

Ⅰ　中期経営計画の振り返り
（2019-2021年度）

１．全体総括
２．経営目標の達成状況

RHYTHM

「飛躍へ向けた基盤づくり」に成果、最終年度黒字化達成

2019年度～2021年度	総括	2022年度～2024年度
2021年度 修正中期経営計画 （新中期経営計画の土台）	**成長戦略への取組** **■車載関連拡大・快適品(※)開発強化** ✓ 精密部品事業では車載関連が着実に成長し全体を牽引 ✓ 快適品を生活用品事業の新たな柱として位置づけ明確化、新製品開発推進中	新中期経営計画
新RHYTHMへ ～飛躍へ向けた基盤づくり～ 成長戦略への取組 グループガバナンスの強化 ROEの改善 ▼ 企業価値の向上	**グループガバナンスの強化** **■グループ経営管理態勢強化** ✓ 内部監査・コンプライアンス・リスク管理のグローバル・フレームワークを構築（管理態勢の共通化） ✓ 新市場区分・改訂CGコード対応推進中	成長戦略の実現
単年度黒字回復	**ROEの改善** **■収益改善により黒字化達成** ✓ 収益改善策が奏功し、ROE黒字化 ・ 三社合併、生活用品事業の構造改革、希望退職ほか固定費削減等	持続的な成長へ

※防災行政ラジオ、モバイルファン、加湿器等人々の快適なくらしづくりにお役に立つ商材

Ⅰ　中期経営計画の振り返り

（2019-2021年度）

1．全体総括
2．経営目標の達成状況

RHYTHM

精密部品事業が全体を牽引し黒字転換

経営成績

	2018年度 実績	2019年度 計画	2019年度 実績	2020年度 計画	2020年度 実績	2021年度 修正計画	2021年度 業績予想	2021年度 計画比
売上高	**31,016**	**31,500**	**29,911**	**32,800**	**27,304**	**27,600**	**28,700**	**1,100**
精密部品事業	21,042	21,500	20,787	22,600	17,958	18,800	21,100	2,300
生活用品事業	9,588	9,600	8,764	9,800	8,717	8,400	7,200	-1,200
その他事業	383	400	358	400	629	400	400	0
営業利益	**761**	**800**	**-234**	**1,300**	**318**	**330**	**700**	**370**
精密部品事業	1,394	1,200	659	1,500	488	830	1,390	560
生活用品事業	-255	0	-417	200	234	0	-250	-250
その他事業	59	70	55	70	98	60	70	10
調整額	-438	-470	-532	-470	-503	-560	-510	50
経常利益	**913**	**900**	**-22**	**1,420**	**588**	**530**	**1,000**	**470**
親会社株主に帰属する当期利益	**-264**	**500**	**-1,139**	**920**	**-1,262**	**330**	**850**	**520**
為替レート	111.00	120.00	108.83	120.00	110.71	105.00	115.00	

計画　　：2019年5月30日発表「中期経営計画（2019.4～2022.3）」
修正計画：2021年5月14日発表「中期経営計画の修正に関するお知らせ」
業績予想：2022年2月10日発表「業績予想の修正に関するお知らせ」

※2021年度よりセグメント区分及び名称を変更
　接続端子事業及びプレシジョン事業を統合→「精密部品事業」、時計事業→「生活用品事業」

3期連続当期赤字から黒字転換

RHYTHM

修正計画比では目標達成、飛躍へ向けた基盤づくりから「成長戦略の実現」へ

財務指標

	2018年度	2019年度		2020年度		2021年度		
	実績	計画	実績	計画	実績	修正計画	業績予想	計画比
営業利益率	2.5%	2.5%	-0.8%	4.0%	1.2%	**1.2%**	**2.4%**	**1.2%**
営業利益（億円）	7.6	8.0	-2.3	13	3.1	**3.3**	**7.0**	**3.7**
ROE	-0.9%	1.9%	-4.2%	3.3%	-5.0%	**4.3%**※	**3.3%**	**-1.0%**
ROA	-0.7%	1.4%	-3.0%	2.3%	-3.5%	**3.0%**※	**2.3%**	**-0.7%**
連結売上高（億円）	310	315	299	328	273	**276**	**287**	**11**
海外売上高比率	38%	42%	43%	46%	40%	**50%**※	**45%**	**-5%**
車載関連売上高（億円）	74	–	76	–	67	**110**※	**88**	**-22**

※計画 ： 2019年5月30日発表「中期経営計画（2019.4～2022.3）」

- 営業利益・利益率　精密部品事業がコロナ前水準まで業績回復、**修正計画達成**
- ROE・ROA　**黒字転換**
- 連結売上高　生活用品事業の落ち込みを精密部品事業がカバー、**修正計画達成**
- 海外売上高比率　**精密部品事業では50%超、全体では45%**にとどまる
- 車載関連売上高　**金額ベース2018年度比＋14億円、売上構成比率ベース＋6.8%**

Ⅱ　長期ビジョン

１．現在の事業構造・強み
２．概要

RHYTHM

強みを活かし、収益力強化と持続的成長へ

三社合併・事業改革

グループシナジー効果をテコに、
これまでの時計事業中心の会社から精密部品事業を成長ドライバーとする成長企業へ舵を切る

東北リズム	リズム協伸	リズム時計
プレシジョン事業	接続端子事業	時計事業

リズム株式会社

精密部品事業

- 日本・アジアに生産拠点を展開
- 1/1000ミリ精度を極めた高難度精密金型技術
- 樹脂成型・金属プレス加工技術
- プレス～インサート成形まで一気通貫生産体制

生活用品事業

- クロック分野での70年を超える歴史
- 日本全国・海外90ヵ国以上に渡る販売網
- クロック製造技術を活かした快適品開発

Ⅱ　長期ビジョン

１．現在の事業構造・強み
２．概要

RHYTHM

外的環境	内的環境
企業の経営姿勢・存在意義が問われる時代に	“新生リズム”　飛躍へ向けた基盤づくりを推進
■サステナビリティ経営 ■コロナによるライフスタイルの変化 ■デジタル革命 ■モビリティ革命 ■クロック市場の縮小	■国内基幹三社合併・組織再編 ■事業区分変更 ■生活用品事業の構造改革 ■社会的信頼回復への取組継続

長期ビジョン

もの造りで圧倒的な強さを発揮し、自ら変化を作り出す企業へ

- **売上500億円**
- **営業利益50億円**
- **利益率10%**

事業全体	■ **海外売上高比率50%超のグローバル企業へ**
精密部品	■ **車載関連事業の更なる拡大と新たな成長事業の確立へ**
生活用品	■ **快適品事業を成長軌道へ**

Ⅲ　中期経営計画

（2022-2024年度）

1．中期経営計画の位置づけ
2．基本方針と戦略の骨子
3．経営目標
4．事業戦略
5．財務戦略・資本政策
6．サステナビリティ戦略
7．経営基盤
8．株主還元
9．プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

Ⅲ　中期経営計画（2022-2024年度）　-　1．中期経営計画の位置づけ

RHYTHM

経営理念

たゆみない創造と革新を続け、
豊かで楽しい安全な社会づくりに貢献する

長期ビジョン（ありたい姿）

もの造りで圧倒的な強さを発揮し、
自ら変化を作り出す企業へ

新中期経営計画

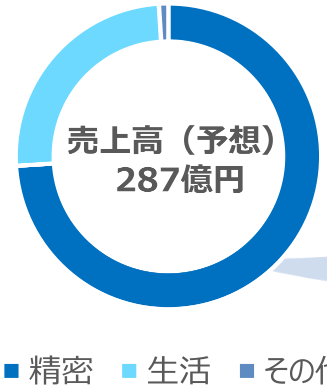
成長戦略の実現

- 事業戦略
- 財務戦略
- サステナビリティ戦略
- 経営基盤

RHYTHM

長期ビジョンに向けた「成長戦略の実現」の3年間と位置づけ

中期計画（2019～21年度）
「飛躍へ向けた基盤づくり」



2021年度	売上高（億円）	FY2018比（億円）
精密部品	211	1
生活用品	72	-23
その他	4	0
	287	-23

中期計画（2022～24年度）
「成長戦略の実現」

2024年度	売上高（億円）	FY2021比（億円）
精密部品	263	52
生活用品	88	16
その他	4	0
	355	68

長期ビジョン
「持続的成長の実現」

	売上高（億円）	FY2024比（億円）
精密部品	350	87
生活用品	150	62
その他	-	-
	500	145

Ⅲ　中期経営計画

（2022-2024年度）

1．中期経営計画の位置づけ
2．基本方針と戦略の骨子
3．経営目標
4．事業戦略
5．財務戦略・資本政策
6．サステナビリティ戦略
7．経営基盤
8．株主還元
9．プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

RHYTHM

経営戦略の３つの柱とそれを支える経営基盤により企業価値向上を実現

企業価値の向上

財務指標

非財務指標

事業戦略

製販技一体戦略による成長領域の拡大

営業利益率 / 海外売上高 / 車載関連売上高

財務戦略

事業成長重視の戦略的投資と株主還元の向上

ROE

サステナビリティ戦略

事業・企業活動を通じた社会価値創出

CO2削減量 / 女性従業員比率

経営基盤

経営基盤の更なる強化による戦略実現サポート

Ⅲ　中期経営計画

（2022-2024年度）

１．中期経営計画の位置づけ
２．基本方針と戦略の骨子
３．経営目標
４．事業戦略
５．財務戦略・資本政策
６．サステナビリティ戦略
７．経営基盤
８．株主還元
９．プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

RHYTHM

2024年度売上高355億円、営業利益20億円の達成

売上・利益計画

	2021年度 業績予想	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画	2024年度 2021年度比
売上高	**28,700**	**30,700**	**33,000**	**35,500**	**6,800**
精密部品事業	21,100	22,700	24,600	26,300	5,200
生活用品事業	7,200	7,600	8,000	8,800	1,600
その他事業	400	400	400	400	0
営業利益	**700**	**1,000**	**1,600**	**2,000**	**1,300**
精密部品事業	1,390	1,760	2,100	2,300	910
生活用品事業	-250	-280	0	200	450
その他事業	70	60	70	75	5
調整額	-510	-540	-570	-575	-65
経常利益	**1,000**	**1,300**	**1,850**	**2,250**	**1,250**
親会社株主に帰属する当期利益	**850**	**1,000**	**1,300**	**1,600**	**750**
為替レート	115.00	120.00	120.00	120.00	

RHYTHM

持続的な成長のため、資本効率を高める経営へ

財務指標

	2021年度 業績予想	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画	2024年度 2021年度比
営業利益率	2.4%	3.3%	4.8%	5.6%	3.2%
ROE	3.3%	3.8%	4.7%	5.6%	2.3%
海外売上高比率	45%	46%	48%	48%	3%
車載関連売上高	88億円	105億円	110億円	120億円	32億円

売上 × 収益性 × 資本効率性

- ■ 増収へ海外売上・車載関連売上の拡大
- ■ 営業利益率5.6%以上を確保
- ■ ROE8%以上の達成に向け、2024年度はROE5.6%必達

RHYTHM

Ⅲ　中期経営計画

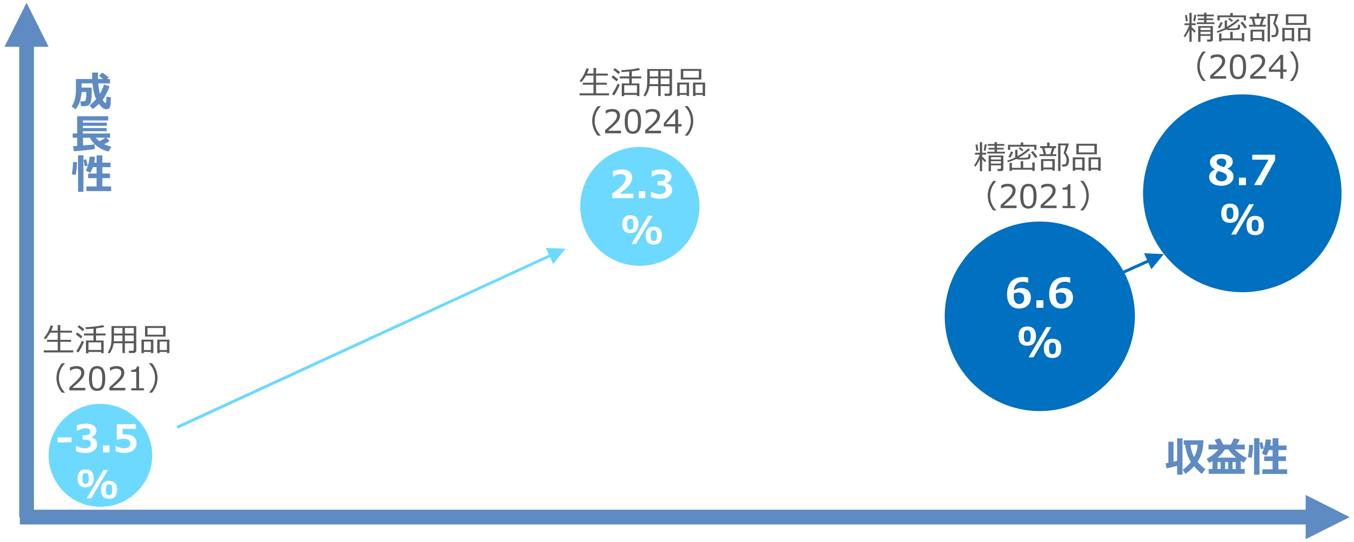
（2022-2024年度）

1．中期経営計画の位置づけ
2．基本方針と戦略の骨子
3．経営目標
4．事業戦略
5．財務戦略・資本政策
6．サステナビリティ戦略
7．経営基盤
8．株主還元
9．プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

RHYTHM

精密部品事業を成長ドライバーとし全社的成長を加速
事業戦略のキーは「海外」「車載」「快適品」の拡大

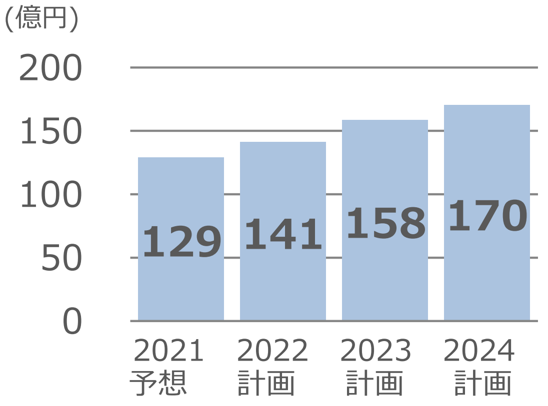
事業ポートフォリオ



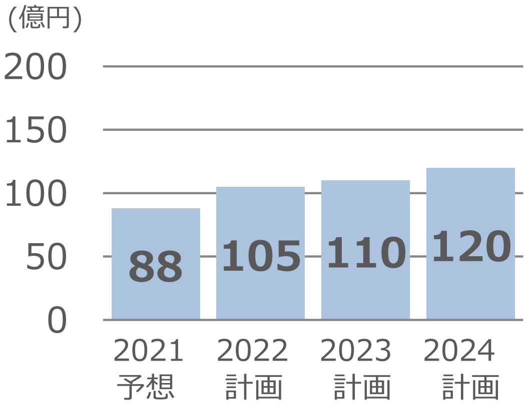
【成長性】
売上高成長率（年平均）
（2021：2019～21年度）
（2024：2022～24年度）
【収益性】
営業利益率
【円の表示】
大きさ：売上高
円内の数値：営業利益率

売上高目標

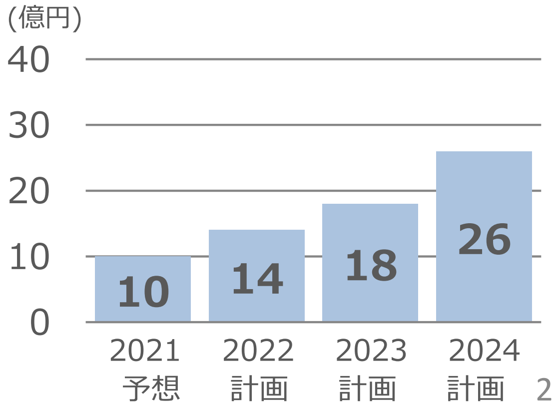
海外売上高



車載売上高



快適品売上高



超高難度精密技術を強みに、車載関連はじめ成長領域を拡大

外的環境

CASE
MaaS

自動化
電動化

セキュリティ
安全

カーボン
ニュートラル

部品メーカーは大きな変革期に直面

環境変化をビジネスチャンスに転換
当社技術の活用領域拡大

内的環境

事業統合シナジーによる付加価値の創出

旧プレシジョン事業の資産

- 高難度精密金型・樹脂成型技術
- 最新設備・クリーンルーム完備の工場

＋

旧接続端子事業の資産

- 金属プレス加工技術
- 自動車業界はじめ幅広い取引先

生産体制の強化

会津新工場２棟竣工
（2018年10月/2020年12月）

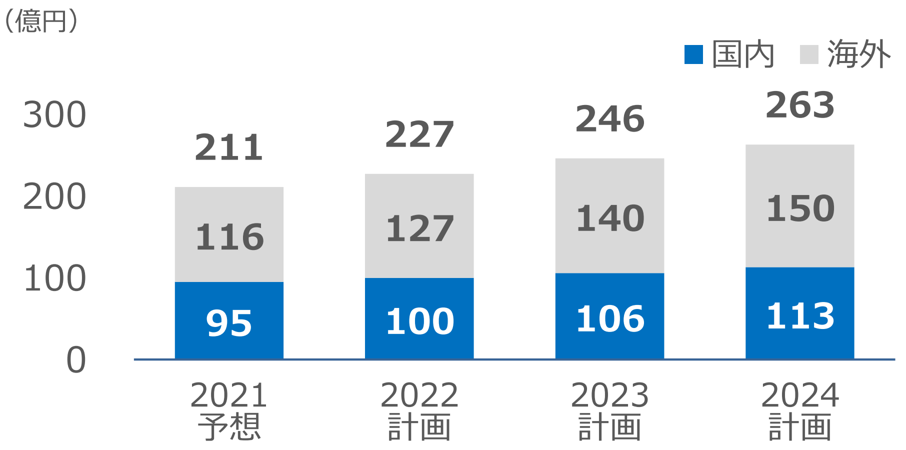
青森五所川原工場増築
（2021年4月）

RHYTHM

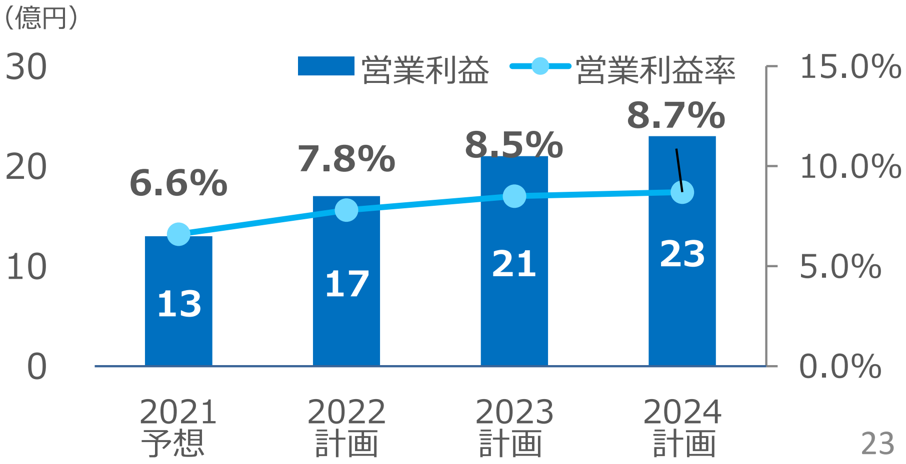
超高難度精密技術を強みに、車載関連はじめ成長領域を拡大

事業戦略	
車載関連事業の拡大	・EV・自動運転/ADAS関連部品の拡大 ・オリジナル部品の強化によるリズムブランドの確立
超高難度精密技術による成長領域の拡大	・セキュリティ・認証関連部品の拡大（カメラホルダー・センサー等） ・ドローン等ユニット品の拡大 ・新たな高付加価値部品の開発
グループ間連携によるコスト競争力強化	・工場別機能仕分け・技術目録整備の強化 ・自動化・効率化の推進 ・予兆管理・品質傾向分析の強化

売上高



営業利益・利益率



RHYTHM

クロックは主力製品に特化、新たな柱となる快適品を拡大

製品カテゴリ

クロック

快適品

家電・雑貨

モバイルファン、加湿器など

Coming Soon…

- 新型ﾌｧﾝ
- ｱﾛﾏﾃﾞｨﾌｭｰｻﾞｰ
- 超音波加湿器
- ﾊﾞｽｸﾞｯｽﾞ etc

防災関連

防災行政ラジオ
家庭用防災クロック

Coming Soon…

新機能
搭載ﾓﾃﾞﾙ

私たちリズムは、くらしに役立つ快適品事業の拡大を実現し、成長していきます。

PRODUCT PURPOSE

くらしのリズムを整える

PRODUCT PHILOSOPHY

良い時間を過ごす

DESIGN PHILOSOPHY

素直 … シンプル（わかりやすい・整理された）
なじむ（くらしの一部）

高鳴り … 演出（ひきつける力・ポイント）
好奇心・知性

想う … 大切な人と共有（たのしい・喜び）
気づかう（緻密・丁寧・細やか）

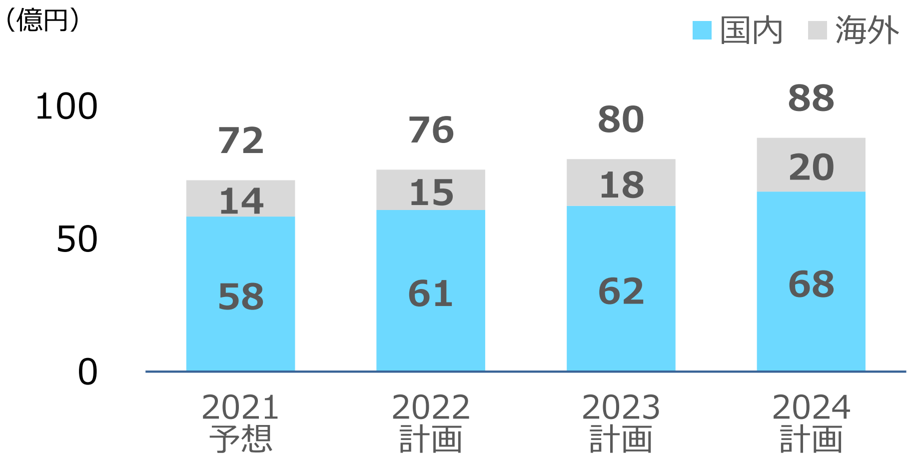
※上記パーパス・フィロソフィーは当社の快適品事業に関するものです。

RHYTHM

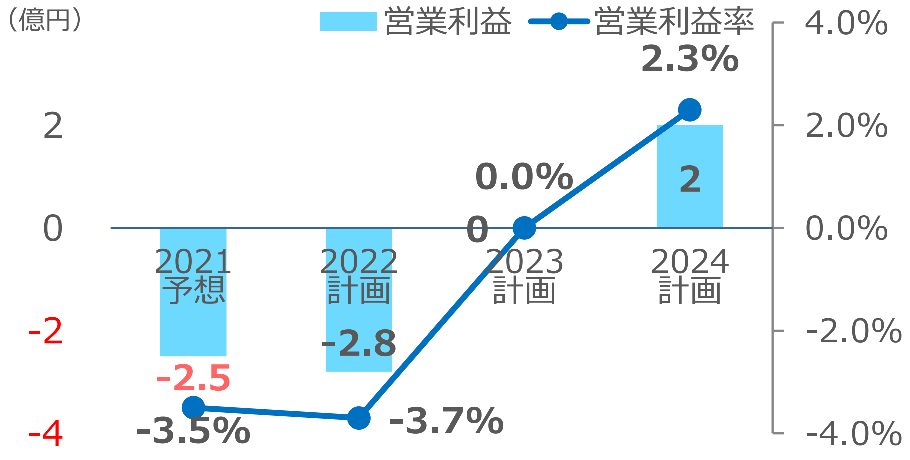
クロックは主力製品に特化、新たな柱となる快適品を拡大

事業戦略	
新たな柱となる快適品事業の確立	・製品ラインナップの拡充 ・企画・開発力の強化
クロック事業の維持・効率化	・主力製品への重点特化 ・もの造り改革PJTによる生産効率化・QCD強化
D2C販売の強化	・快適品を中心としたD2C専任販売体制の確立 ・快適品販売に適した新販路の開拓 ・グループ会社の直営店舗・ECサイトの活用

売上高



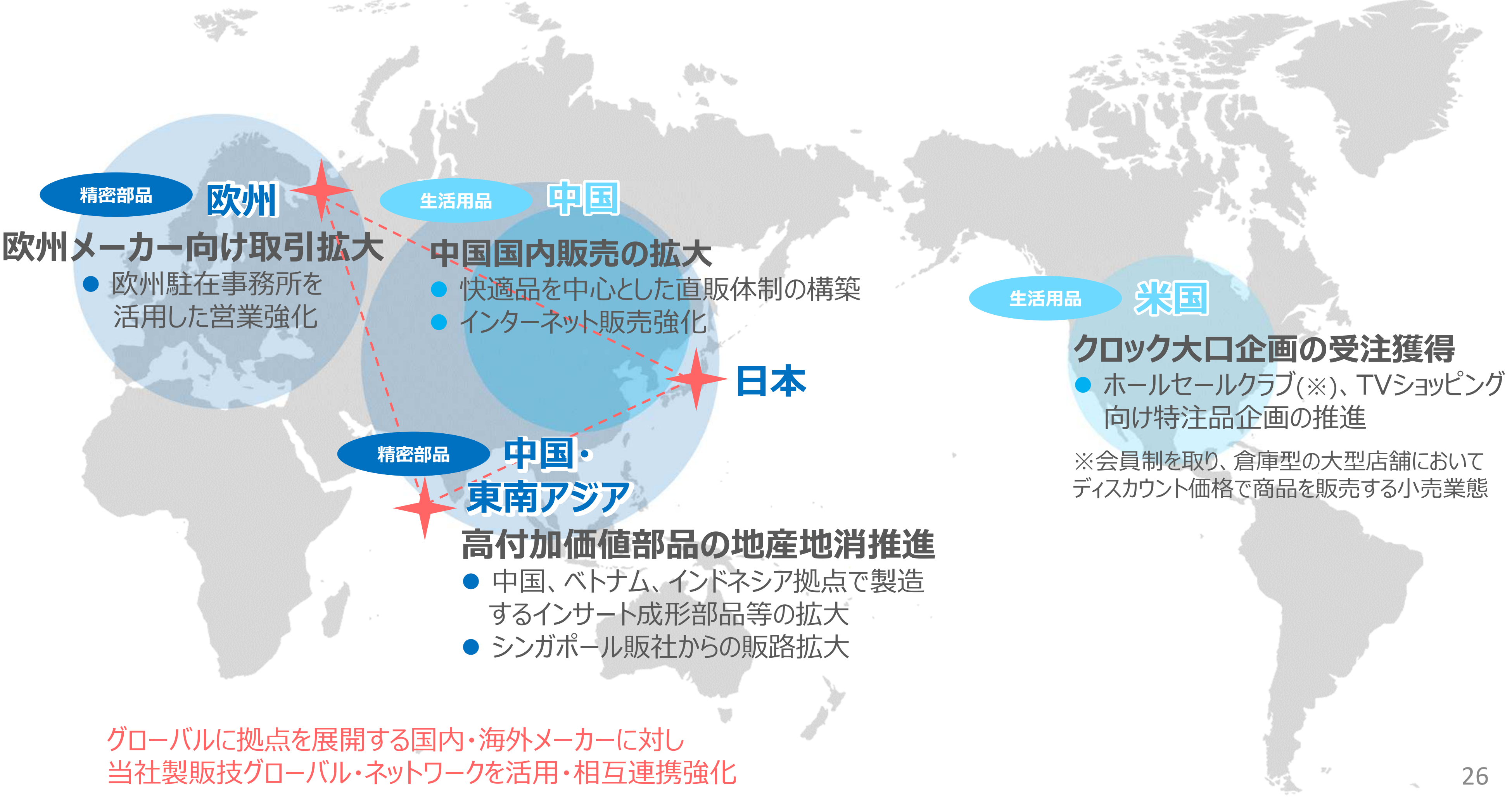
営業利益・利益率



RHYTHM

精密部品は中国含む東南アジア･欧州、生活用品は中国･米国市場を拡大

精密部品	生活用品
■EV･自動運転･家電関連の新規受注獲得	■中国･米国巨大市場向け企画の実現



グローバルに拠点を展開する国内・海外メーカーに対し
当社製販技グローバル・ネットワークを活用・相互連携強化

Ⅲ　中期経営計画

（2022-2024年度）

１．中期経営計画の位置づけ
２．基本方針と戦略の骨子
３．経営目標
４．事業戦略
５．財務戦略・資本政策
６．サステナビリティ戦略
７．経営基盤
８．株主還元
９．プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

RHYTHM

資本コスト・事業ポートフォリオ評価を踏まえた戦略的な投資判断

営業CFの最大化

■事業の成長拡大・収益の極大化
■効率的コスト経営

BSマネジメント

■適切な在庫水準
■政策保有株式の売却検討
■遊休不動産の活用・売却

キャッシュ創出・資本効率向上

資本コスト・事業ポートフォリオによる経営意思決定

投資効率と積極的なリスクテイクによる投資判断

✓事業別ROIC導入
✓事業ポートフォリオ評価の実施
✓投資基準の明確化

RHYTHM

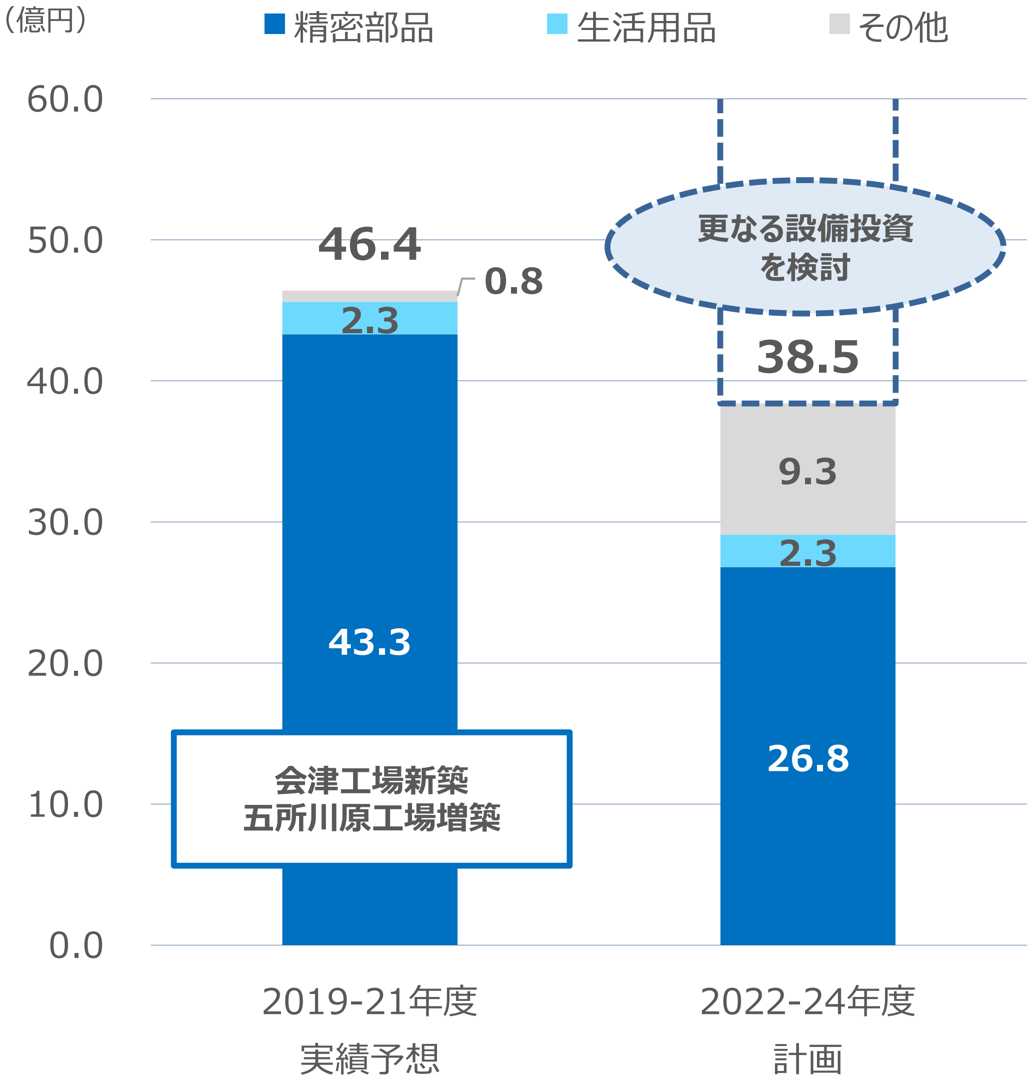
積極的な成長事業投資と株主還元の向上の両立を実現

キャッシュイン	キャッシュ配分	
営業CF 60～70億円	事業投資 40億円	■ **持続的な成長に向けた積極的な投資** ● 成長ドライバーである精密部品事業への積極投資 ● 生活用品事業の新たな柱（快適品）の育成投資 ● システム／IT投資
	株主還元 10～20億円	■ **株主還元の向上** ● 配当性向30%以上、一株当たり配当金30円以上 ● 自社株買いなどの更なる株主還元の検討（総還元性向の向上）
手元資金 資産売却	その他投資 10～20億円 ＋α	■ **余剰CFに加え、手元資金、資産売却資金の活用による更なる成長投資** ● M&A投資 ● 追加設備投資 ● 環境対応

RHYTHM

事業戦略の遂行に向け厳選した成長投資を実行

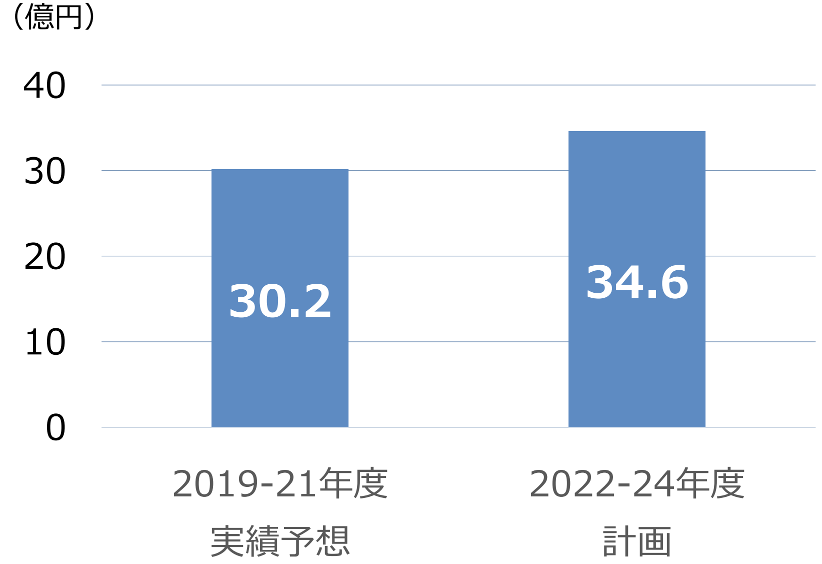
設 備 投 資



主な設備投資計画内訳

精密部品	26.8億円	プレス機、加工機、成形機、固定資産修繕
生活用品	2.3億円	金型、固定資産修繕
その他	9.3億円	システム・IT投資
合計	38.5億円	

減 価 償 却 費



RHYTHM

Ⅲ　中期経営計画

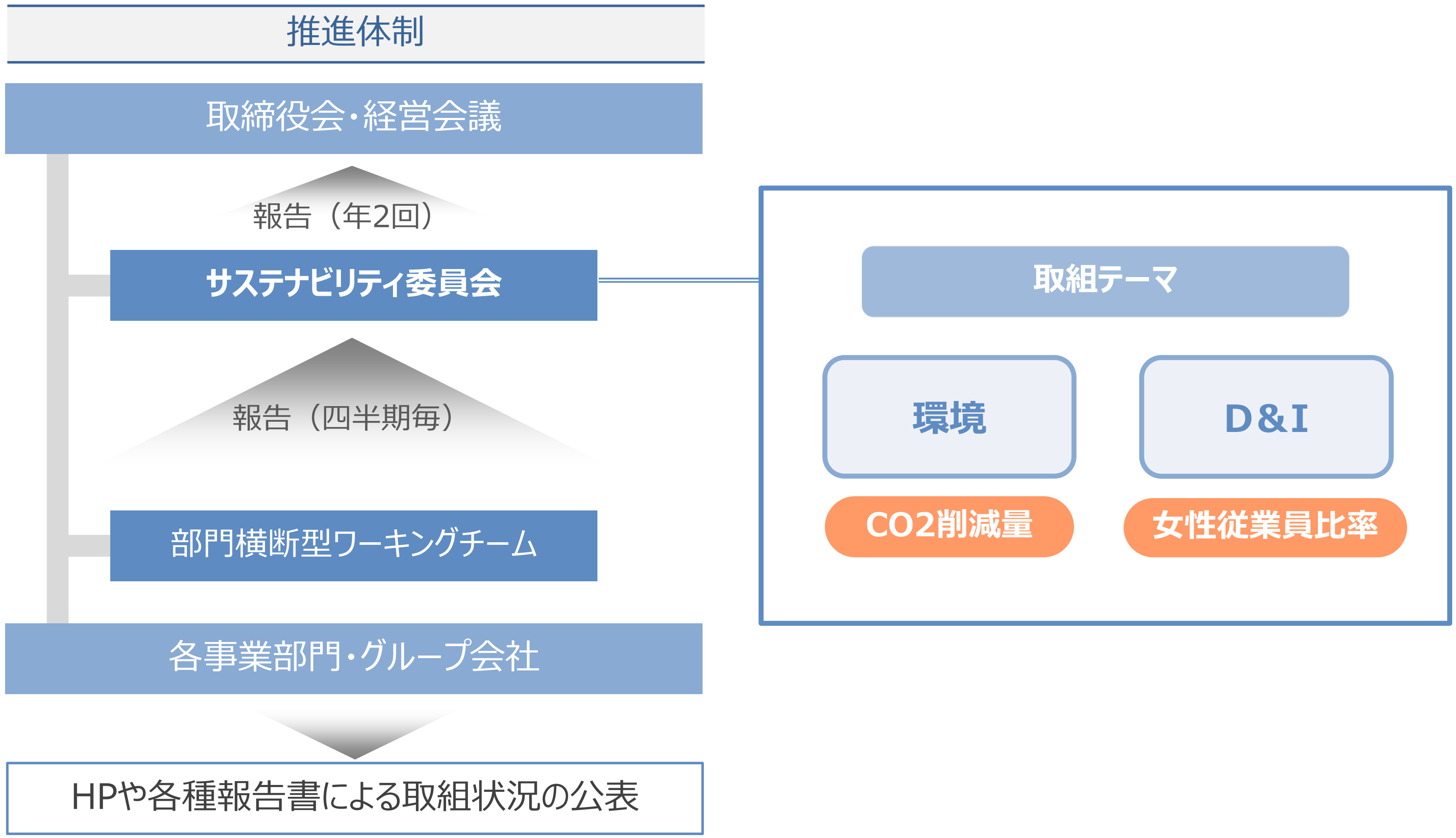
（2022-2024年度）

1．中期経営計画の位置づけ
2．基本方針と戦略の骨子
3．経営目標
4．事業戦略
5．財務戦略・資本政策
6．サステナビリティ戦略
7．経営基盤
8．株主還元
9．プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

RHYTHM

サステナビリティ経営のフレームワークを構築し、全社横断的な取組を推進

基本方針	経営理念「たゆみない創造と革新を続け豊かで楽しい安全な社会づくりに貢献する」を基本的な考え方として、全従業員がその実践を通じて持続的な企業価値向上を目指す



「環境」「D&I」への取組を通じた社会価値創出

環境　電力使用量削減によるCO_2排出量の削減

非財務指標	具体的取組
2030年度　CO230%削減 **2050年度　実質ゼロ** ※ 削減割合は、2018年度比とする ※ スコープ1＋2対象とする	■再生エネの利用促進 ● 会津工場の屋根へソーラーパネルを設置 ● 太陽光発電によるグリーン電力の利用 ■自社工場の省エネ化推進 ■環境配慮型製品・パッケージの拡大 ● 電池レス／取説のQR化／リサイクル資材活用等

D&I　ジェンダーギャップ解消・多様な人材の活躍

非財務指標	具体的取組
女性従業員比率　25%以上	■女性採用強化 ■育児休暇取得の推進 ■2024年度プラチナくるみん(※)の取得 ■障がい者・外国人等多様な人材が活躍できる制度・職場環境づくり ※厚生労働省による「子育てサポート企業」の認定制度

Ⅲ　中期経営計画

（2022-2024年度）

1．中期経営計画の位置づけ
2．基本方針と戦略の骨子
3．経営目標
4．事業戦略
5．財務戦略・資本政策
6．サステナビリティ戦略
7．経営基盤
8．株主還元
9．プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

RHYTHM

強固な経営基盤が3つの戦略（①事業、②財務、③サステナビリティ）の実現を支える

ガバナンス　グループガバナンスの高度化

具体的取組

- 改訂CGコード全83項目コンプライ
- 内部監査、コンプライアンス、リスク管理のグローバル・フレームワーク（グループ共通管理態勢）の定着・高度化
- グローバル経営管理態勢の強化
  - 経営サポート機能・モニタリング機能の両面での機能発揮

改訂CGコード 主な取組

項目・原則		対応状況・取組方針
1-2 ④	議決権電子行使プラットフォームの利用、招集通知の英訳	2022年度よりプラットフォーム利用及び招集通知の英訳を開始
2-4 ①	多様性の確保について測定可能な目標、人材育成方針、社内環境整備方針を開示すべき	多様性確保の目標と人材育成・社内環境整備方針を2022年度開示
3-1 ②	開示書類のうち必要とされる情報について、英語での開示・提供を行うべき	2022年度より決算短信、招集通知の英訳を開始
3-1 ③	TCFDに基づく開示の質と量の充実を進めるべき	2022年度よりサステナビリティ委員会を設置。TCFDに基づく開示のフレームワークを2024年度迄に構築
4-1 ③	後継者計画の策定・運用、適切な監督を行うべき	2024年度迄に後継者計画策定・運用を開始
4-8	独立社外取締役を少なくとも3分の1以上選任	現在、取締役8名中3名が独立社外取締役
4-10 ①	指名・報酬委員会の過半数を独立社外取締役とする	独立社外取締役を中心とするガバナンス委員会を設置済

RHYTHM

強固な経営基盤が3つの戦略（①事業、②財務、③サステナビリティ）の実現を支える

人材　人材育成　働きがいの向上

5 ジェンダー平等を実現しよう　8 働きがいも経済成長も　10 人や国の不平等をなくそう

具体的取組

- 人員構成表による適正体制の構築
- 階層別・年齢別研修制度の充実
- 「グローバル人材育成プログラム」の実施（国内・海外人材交流）
- タウンミーティングの実施

IT　ITインフラの最適化

8 働きがいも経済成長も　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

具体的取組

- 基幹システム入替
- DX推進
- グループIT統制の強化
- テレワーク環境の整備
- ITリテラシー教育の実施

SR(※)　コミュニケーション強化

8 働きがいも経済成長も　11 住み続けられるまちづくりを　17 パートナーシップで目標を達成しよう

具体的取組

- 適切な情報開示と透明性の確保
- 取引先との共存共栄
- 地域のまちづくり貢献　パートナーシップ構築宣言
  - 社会の安心・安全に貢献する製品の開発（防災行政ラジオ、EV・自動運転関連部品等）
  - プロスポーツチームへの協賛

©URAWA REDS　©Rakuten Eagles

浦和レッズとの共同企画「リズムハートフルサッカー」

子どもたちへのお土産は「モバイルファン」

※　Stakeholder Relations：ステークホルダーとの関係

Ⅲ　中期経営計画

（2022-2024年度）

１．中期経営計画の位置づけ
２．基本方針と戦略の骨子
３．経営目標
４．事業戦略
５．財務戦略・資本政策
６．サステナビリティ戦略
７．経営基盤
８．株主還元
９．プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

RHYTHM

株主還元の向上

■ 配当基本方針　：　配当性向30%以上、一株当たり配当金30円以上
■ 機動的な自己株式取得の検討（総還元性向の向上）

配当金の推移（利益計画に基づく試算）

	2021年度 業績予想	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
売上高（百万円）	28,700	30,700	33,000	35,500
当期利益（百万円）	850	1,000	1,300	1,600
一株当たり当期利益（円）※1	101.37	119.26	155.04	190.81
一株当たり配当金／年（円）※2	30	36	47	57
配当性向（%）※3	30	30	30	30

※1　自己株式を除かない全株式数で試算。
※2　業績予想、計画に基づく試算であり、記載の配当を約束するものではありません。
※3　配当性向30%の場合の試算。

業績、手元資金、投資の状況に応じて30%以上の更なる配当を行う

Ⅲ　中期経営計画

（2022-2024年度）

１．中期経営計画の位置づけ
２．基本方針と戦略の骨子
３．経営目標
４．事業戦略
５．財務戦略・資本政策
６．サステナビリティ戦略
７．経営基盤
８．株主還元
９．プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

RHYTHM

上場維持基準の適合に向けた基本方針

- 業績向上による時価総額の向上
- 流通株式比率の更なる向上

流通株式時価総額の増加に向けた考え方

適合計画書 2021年12月23日新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

	流通株式時価総額（百万円）	当期利益（百万円）	株価（円）	EPS（円）	PER（倍）	流通株式比率	BPS（円）	PBR（倍）
2021年度	6,506	450	1,190	53.67	22.2	65.2%	3,040	0.39
2024年度試算	**10,096**	**650**	1,720	77.52	22.2	70.0%	3,040	0.57

2024年度計画数値

（1）計画書PER（22.2倍）を前提とした試算

	流通株式時価総額（百万円）	当期利益（百万円）	株価（円）	EPS（円）	PER（倍）	流通株式比率	BPS（円）	PBR（倍）
2024年度計画	**24,811**	**1,600**	4,227	190.81	22.2	70.0%	3,408	1.24

（2）目標株価（1,720円）を前提とした試算

	流通株式時価総額（百万円）	当期利益（百万円）	株価（円）	EPS（円）	PER（倍）	流通株式比率	BPS（円）	PBR（倍）
2024年度計画	**10,096**	**1,600**	1,720	190.81	9.0	70.0%	3,408	0.50

（3）PBR（1倍）を前提とした試算

	流通株式時価総額（百万円）	当期利益（百万円）	株価（円）	EPS（円）	PER（倍）	流通株式比率	BPS（円）	PBR（倍）
2024年度計画	**20,003**	**1,600**	3,408	190.81	17.9	70.0%	3,408	1.00

2024年度当期利益は適合計画を上回る計画、流通株式時価総額100億円の達成を目指す

免 責 条 項

RHYTHM

本資料は当社をご理解いただくために作成されたものです。

本資料における予想、計画等将来に関する記述につきましては、当該時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

担 当 窓 口

広報IR担当窓口

リズム株式会社
経営企画部　相澤
　　　　　　作田

電話　048-643-7241（経営企画部直通）